

HTML5 実験

課題 1：HTML5 の基本

HTML5 とは

HTML4 までは文章のマークアップがメインだったが、HTML5 になると Web アプリケーションを作成できることを目指しているので、あと CSS を知っていれば Web アプリケーションを作成できることになる。また HTML5 の API を使用するには JavaScript が必須となるので、JavaScript の延長として勉強しよう。

ただし HTML5 はまだ正式な仕様が決まっていない。しかも各社で対応部分がことなり、足並みがそろっていない。しかしスマートフォンではすでに HTML5 が使用されており、いずれこれに変わっていくことはわかっているので、今のうちにどんなことができるか調べて見よう。

たとえば、以下は jquery の時に使用した HTML4 のソース

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN"
"http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
  <head>
    <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
    <title>バージョンを確認</title>
    <script type="text/javascript" src="../jquery-1.6.4.min.js"></script>
    <script type="text/javascript">
      window.alert($.fn.jquery);
    </script>
  </head>
  <body></body>
</html>
```

これを HTML5 で記述すると

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="utf-8">
```

```
<title>バージョンを確認</title>
<script src="../../jquery-1.6.4.min.js"></script>
<script>
window.alert($.fn.jquery);
</script>
</head>
<body></body>
</html>
```

とかなり簡略化される。DOCTYPE が短くなるだけでもうれしい。

ところで、HTML5 はなぜ勧告されないうちに世に広がっているのか。それは HTML4 の次は XHTML1,XHTML2 として進んできた流れがある。しかしこの計画は各社の賛同をえられなかったため頓挫し、HTML5 の草案が 2008 年に出され、2014 年までに勧告する予定になっている。

HTML5 の流れは、HTML4 に Web Applications を組み込んで、これだけでアプリケーションが組めるようにすることを目指している。現在サイト中で動きを表現しようとするれば Flash を使っている。しかし HTML5 の流れの中では Flash を使わないようにしようとしている。しかし、ここまでひろがった技術がそう簡単にはなくならないだろう。結局 Flash でもできるが、HTML5 でもできるということになるのではないか。これらの流れはよりいっそう Javascript の重要性が高まることになるので、しっかり勉強して欲しい。

いままでは、ブラウザに映像、アニメーション、データベースなどを追加してその機能を行なってきたが、これからはそれらが全部 HTML5 自体の機能となる。ブラウザさえもっていれば、なにも追加しなくても標準でできるということは、機能の幅がひろがり、表現方法が統一された環境でできるようになる。

HTML5 で変わること

廃位される要素

basefont,big,center,font,s,strike,tt,u,frame,frameset,noframes,acronym,applet,isindex,dir

追加される要素

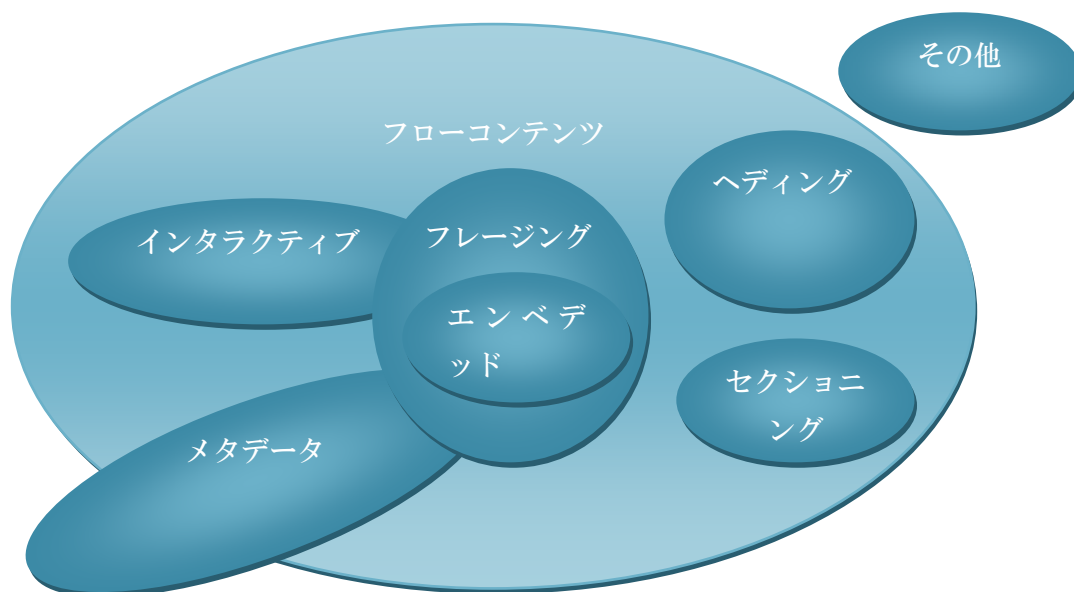
section,article,aside,hgroup,header,footer,nav,figure,figcaption,video,audio,source,embed,mark,time,ruby,rt,rb,command,details,summary,datalist,keygen,output

API 用に追加される要素

canvas,progress,meter

コンテンツモデル

HTML4 では要素は主にブロック要素とインライン要素にわかれていて、インライン要素はブロック要素の中に書くことになっていたが、HTML5 ではそれらが複雑に絡み合い8種類のコンテンツになった。



ヘッダー情報

最初に見せたソースコードでだいたいわかると思うが、DOCTYPE meta link script などが簡略化される。

ページヘッダーとナビゲーション

header という要素が追加されているがこれは head とは違い、body 要素だ。header,nav,article,footer などの新しい要素を使って、マークアップを構成して、ひと目でわかる構成にしている。以前は同様のことを div の id などで行なっていたが、はっきりと区分が決まった。

header がページヘッダ、nav が画面切り替えなどのナビゲーション、article は本文とは独立した内容の脇書き、footer はページフッター、そして本文はこれも新しい要素 section で区分する。Section に id で名前を付ける。

